

## 2026年度の事業方針と経営再建に向けたご報告

新年あけましておめでとうございます。

ステークホルダーの皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

2026年の年頭にあたり、昨年度の反省とともにお詫びを申し上げ、そして本年度の事業方針と経営再建への確固たる決意をご報告させていただきます。

昨年度は、全てのステークホルダーの皆様にご心配をおかけしましたこと、お詫び申し上げます。また、株主の皆様にはご迷惑をおかけしたこと、深くお詫び申し上げます。

皆様の信頼を回復すべく、まずはいかなる環境下でも揺らぐことのない強靭な経営基盤の再構築に、全社を挙げて着手いたします。

コロナショックがもたらした未曾有の危機と強烈な財務的圧力は、当社の戦略的選択肢を狭める結果となりました。しかし、この厳しい経験を通じて、私たちはどのような環境下でも組織統制が崩壊することのない、強靭な経営基盤そのものを再構築する必要性を痛感いたしました。信頼回復の第一歩として、経営の根幹をなす内部体制の抜本的な改革に着手いたします。

具体的には、以下の三つの柱を軸とした改革を断行してまいります。

・コンプライアンスとガバナンスの徹底

実効性を最優先課題とし、全社員のコンプライアンス意識を徹底するための教育体制を構築します。同時に、コンパクトでありながら強力で実効性の高いガバナンス体制を確立し、経営の透明性を確保します。

・業務プロセスの見直しと文書化

これまで一部で散見された属人的な判断を完全に排除するため、特に売上計上に係る業務フローの再構築と文書化を徹底します。これにより、誰が担当しても客観的かつ正確な処理が行われる仕組みを確立します。

・経理機能の専門性と客観性の強化

企業の健全性を示す経理機能の専門性と客観性を高めるべく、内部人材の育成と外部専門家との連携強化を両面から図ります。これにより、より高度で信頼性の高い財務報告体制を構築します。

これらの改革を全社一丸となって断固実行し、透明性の高いガバナンス体制のもとで持続的な成長を実現することで、皆様の信頼を必ずや回復することをお約束いたします。

### **2026年度の成長戦略：AI技術の全面的な活用**

盤石な経営基盤の再構築を最優先で進めると同時に、未来への成長に向けた歩みを止めることはありません。強固な基盤があつてこそ、真の技術革新が可能になると確信しております。

その中核戦略として、本年度よりAI開発企業との業務連携を本格的に開始いたしました。この戦略的パートナーシップにより、変化し続けるお客様のニーズに迅速かつ的確にお応えできる、最先端のAI開発体制を整えてまいります。

AI技術の活用により、お客様に新たな価値を提供し、業界における当社の競争優位性を確固たるものにしてまいります。

結びとして

2026年は、過去の反省に立ち、経営基盤を徹底的に再構築する「改革の年」であると同時に、AI技術を核とした未来への投資を加速させる「飛躍の年」でもあります。

この二つの取り組みを両輪とし、企業としての再生と成長を必ずや成し遂げる覚悟です。私たちの究極の目標は、すべてのステークホルダーの皆様の期待に応える企業価値を創造していくことです。その実現に向け、役員・従業員一同、全身全霊で邁進してまいります。本年も何卒、ご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

以上

2026年 1月

株式会社アルファクス・フード・システム

代表取締役会長 田村 隆盛

代表取締役社長 藤井由実子